

多様性に配慮した避難所運営

《心のトレーニング》

あなたもリーダーに・・・

いつ来てもおかしくない「大規模災害」・・・・・・
その時、あなたはどうしますか？ コロナを経て、皆さんの周りの社会は大きく変わって来ています。避難所の中の《多様性》って何だろう？
みんなで考えてみませんか？ 避難所を女性の目線で見ませんか？

令和5年11月25日(土曜日) 9時20分から11時50分 (受付開始9時)

- **対象者**：市民、中・高校生、大学生、行政職員、障がい者の方、学校施設管理者の方、災害ボランティアの方など災害に関心のある方、・・・・男女老若どなたでも
- **定員**：40名 ワークショップで参加者同士、意見交換しながら課題解決に挑戦します。
- **会場**：**座間市消防本部4階多目的室**（座間市緑ヶ丘1-48-1）

申込先：座間市くらし安全部危機管理課

☎：046-252-7395 FAX:046-252-7773

または、QRコードでお申し込みください。

- 駐車場は使用できます。要事前申し込み。
- 研修の内容は、裏面参照



「避難所」は社会の縮図が浮かび上がる世界…

「課題山積」です。

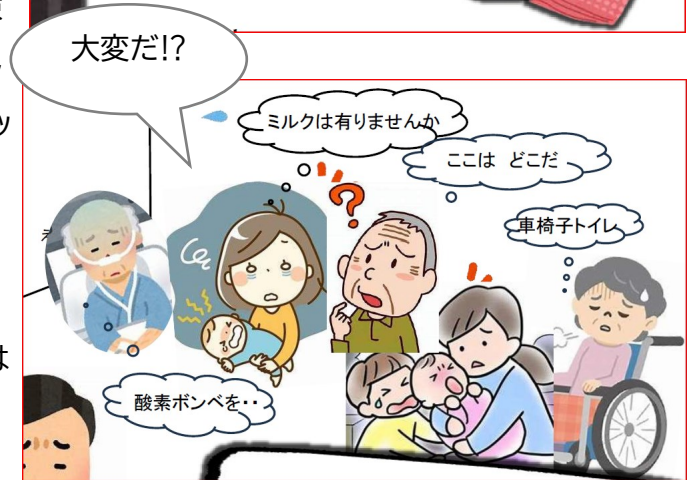
でも「問題」の山はありません。

「課題」が「問題」にならないようにする「知恵」がどこにあるはず
です。

それを、過去の災害現場で女性消防隊員その後、危機管理監と
して、退職後は「災害救援ボランティア活動者」として豊富な経験
を重ねてこられた講師をお招きして、参加者同志で意見交換をし
ながら「問題」解決のための「備えの心を磨く」ことを学ぶワークショ
ップです。

特に、中・高校生、大学生の方々…あなた方は、これから来る
災害の中に確実に立たなければなりません。

その時、今までの社会慣習がまかり通る「避難所」では、被災者は
つらい生活を強いられます。女性目線で解決しませんか？



令和5年度 座間市・ZSVN 防災啓発研修協働事業④

多様性・男女共同参画社会の中での「災害対応」を考
えるワークショップです。

災害の時に「女性・子ども・障がい者・外国人」の方
々が大きな苦しみの中に落ち込んで、精神的に大きな
ダメージを受けたことが報告されています。

この座間で、そのようなことが起きないことを目指
して企画しました。

講師：秦好子 さん



元横浜市消防局消防監

社会貢献学会理事

一般財団法人防災教育推進協会常務理事

横浜災害ボランティアバスの会 代表